

令和4年度第3回常磐公園の緑を考える集い 報告書

○サルノコシカケ(キノコ)の紹介

集いの活動が始める前に常磐公園の樹木にも寄生している「サルノコシカケ」について塩田先生から紹介していただきました。嵐山のビジターセンターで展示されているものを持ってきていただいたので実際に触れてみました。表面はかなり硬く、大きさも大人の手のひらぐらいの大きさがありました。



サルノコシカケ

1. ブッシュゾーン及び日本庭園ゾーンの観測

ブッシュゾーン及び日本庭園ゾーンの管理方法や改良等について皆様と検討いたしました。

(1) ブッシュゾーンに関する検討結果

- ・ 柵の撤去について

これまで人の侵入を防止するため、ブッシュゾーンを囲うように柵を設置しておりましたが、人が侵入してもブッシュゾーンへの影響が少なくなったことから撤去することとしました。柵の撤去作業については後日公園緑地協会の方で実施いたします。

- ・ カンタンの定住化について

カンタンの定住化について皆様と検討した結果、来年度別の場所で捕獲したカンタンをブッシュゾーンに放ち、定住化を試みることにいたしました。カンタンの捕獲作業については来年の8月初め頃、公園みどり課の職員で行う予定です。

(2) 日本庭園ゾーンに関する検討結果

- ・ 日本庭園ゾーンを囲っているエゾマツについて

庭園ゾーンを囲っているエゾマツについて密植されており、鬱蒼とした印象があるため、それらを解消するために、樹木の間引き作業を行うことと致しました。間引き作業は次回の集いの中で皆様と行う予定です。

- ・ アジサイの植栽について

日本庭園ゾーンをより良い空間とするためにアジサイを植えてはどうかと集いの参加者の西さんよりご提案をいただきました。皆様との検討の結果、来年試験的に庭園ゾーンの一部にアジサイを植栽することといたしました。アジサイの苗木については西さんがご自宅で育てられているものを提供頂けるとのことでした。植栽の時期やガーデニングデザインについては今後西さんと相談したうえで皆様と決めていきたいと思っております。



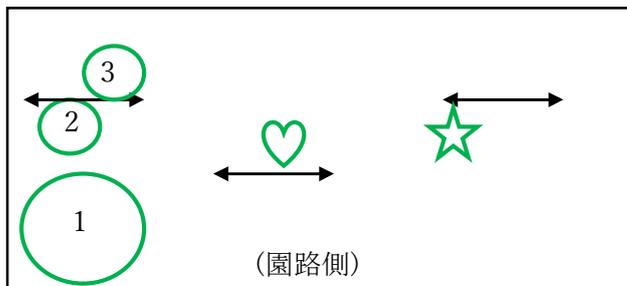
ブッシュゾーン及び日本庭園ゾーンの観測

2. 自然更新ゾーンの実生の移植の検討

自然更新ゾーンの移植する樹種について皆様と検討致しました。皆様と検討した結果、ハルニレ(下記図2のハルニレ)を移植することと致しました。

移植作業は次回の集いの中で皆様と行う予定です。

今後も自然更新ゾーンにある実生の移植については集いの中で検討していきたいと思えます。



○ ハルニレ 計3本

♡ カツラ ←→ 二脚鳥居

☆ イタヤカエデ

自然更新ゾーン模式図



自然更新ゾーンの実生の移植の検討

3. 緩傾斜化区域の改良(枯損枝の剪定等)

緩傾斜化区域内にある枯れ枝がある樹木について、公園利用者への安全措置と生きて
いる枝に栄養がいくように枯れ枝の剪定作業を行いました。

一部太くて剪定できなかつた枝については後日公園緑地協会の方で実施いたします。



緩傾斜化区域の改良(剪定作業)